

これでもわかり合える国なのか？

緊急増刷！

尖閣諸島をめぐる事件、反日暴動……
中国はなぜ世界のトラブルメーカーになってしまうのか？
その答えが 77年前に出版された2冊の本の中にあります

目からうろこ……文句なしに面白い本です！

暗黒大陸 中国の真実

通算15刷出来

【普及版】

ラルフ・タウンゼント著 田中秀雄・先田賢紀智訳
四六判 320頁 定価（本体 1,800円＋税） ISBN978-4-8295-0407-9

中国の 戦争宣伝の内幕

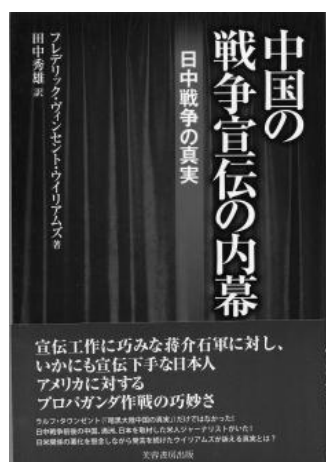
3刷出来

フレデリック・ヴィンセント・ウイリアムズ著 田中秀雄訳
四六判 172頁 定価（本体 1,600円＋税） ISBN978-4-8295-0467-3

◎たくさんのブログ、メルマガで紹介されています

◎この2冊は、いま起きていることを書いたものではありません
70年以上前にアメリカ人が中国で見たことを書き綴ったものです
そんな昔の本がなぜ売れ続けているのか？
“中国という国、そして中国人の本質をこれほどの的確に描いた本はない”
多くの方がこのように絶賛しています

FAX 03-3813-4615



芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

	発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
	暗黒大陸中国の真実 普及版 本体 1,800円		
	中国の戦争宣伝の内幕 本体 1,600円		